

## 分野別男女比

### 1 高等学校卒業者の進路の推移

付表 - 1 - 1 高等学校卒業者の進路の推移（都）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	計	大学等 進学者	専修学校 （計）	専修学校	専修学校	就職者	その他	
				（一般過程） 進学者	（一般過程） 等入学者			
女性	1990（平成2） 年度	89,843 100.0	35,955 40.0	26,540 29.5	26,540 29.5		20,657 23.0	6,691 7.4
	1995（平成7） 年度	73,233 100.0	37,243 50.9	20,500 28.0	12,481 17.0	8,019 10.9	8,265 11.3	7,225 9.9
	2000（平成12） 年度	60,046 100.0	34,170 56.9	14,529 24.2	9,722 16.2	4,807 8.0	3,756 6.3	7,591 12.6
	2005（平成17） 年度	52,357 100.0	31,262 59.7	12,012 22.9	8,757 16.7	3,255 6.2	3,011 5.8	6,072 11.6
男性	1990（平成2） 年度	82,063 100.0	20,935 25.5	36,969 45.0	36,969 45.0		16,480 20.1	7,679 9.4
	1995（平成7） 年度	66,574 100.0	21,174 31.8	27,536 41.4	9,306 14.0	18,230 27.4	9,391 14.1	8,473 12.7
	2000（平成12） 年度	55,170 100.0	25,437 46.1	16,526 30.0	7,765 14.1	8,761 15.9	4,985 9.0	8,222 14.9
	2005（平成17） 年度	50,819 100.0	26,685 52.5	13,057 25.7	6,640 13.1	6,417 12.6	4,183 8.2	6,894 13.6

注1：大学は短大を含む

注2：「就職」の割合は、「学校基本調査」掲載の就職者数から算出したもので、同資料掲載の「就職率」とは異なる。

注3：平成2年度以外の「専修学校」は、「専修学校（専門課程）進学者」と「専修学校（一般過程）等入学者」の合計。

注4：平成17年度、平成12年度は、「その他」に「公共職業能力開発施設等入学者」、「死亡・不詳の者」、「それ以外の者」を含む。平成7年度、平成2年度は、「その他」に「無業者」、「死亡・不詳の者」を含む。

資料：文部科学省「学校基本調査」

付表 - 1 - 2 高等学校卒業者の進路の推移（全国）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	計	大学等 進学者	専修学校 （計）	専修学校 （一般過程）		就職者	その他	
				進学者	等入学者			
女性	1990（平成2） 年度	885,627 100.0	329,913 37.3	206,019 23.3	206,019 23.3		308,436 34.8	41,259 4.7
	1995（平成7） 年度	798,514 100.0	362,633 45.4	202,396 25.3	138,896 17.4	63,500 8.0	176,551 22.1	56,934 7.1
	2000（平成12） 年度	667,357 100.0	317,787 47.6	169,748 25.4	129,113 19.3	40,635 6.1	105,679 15.8	74,143 11.1
	2005（平成17） 年度	595,267 100.0	289,589 48.6	162,433 27.3	130,824 22.0	31,609 5.3	87,132 14.6	56,113 9.4
男性	1990（平成2） 年度	880,942 100.0	209,901 23.8	320,396 36.4	320,396 36.4		299,220 34.0	51,425 5.8
	1995（平成7） 年度	792,207 100.0	235,423 29.7	281,080 35.5	126,713 16.0	154,367 19.5	219,247 27.7	56,457 7.1
	2000（平成12） 年度	661,520 100.0	281,956 42.6	174,434 26.4	99,557 15.0	74,877 11.3	136,010 20.6	69,120 10.4
	2005（平成17） 年度	607,465 100.0	278,750 45.9	154,382 25.4	97,942 16.1	56,440 9.3	119,635 19.7	54,698 9.0

注1：大学は短大を含む

注2：「就職」の割合は、「学校基本調査」掲載の就職者数から算出したもので、同資料掲載の「就職率」とは異なる。

注3：平成2年度以外の「専修学校」は、「専修学校（専門課程）進学者」と「専修学校（一般過程）等入学者」の合計。

注4：平成17年度、平成12年度は、「その他」に「公共職業能力開発施設等入学者」、「死亡・不詳の者」、「それ以外の者」を含む。平成7年度、平成2年度は、「その他」に「無業者」、「死亡・不詳の者」を含む。

資料：文部科学省「学校基本調査」

付表 - 1 - 3 高等学校卒業後の就職者の職業分類（都）

(単位：人)

区分		計	専門的・ 技術的	事務	販売	サービス	保安	農林 漁業	運輸・ 通信	生産工程 ・労務	その他
女性	1985 (昭和60) 年度	22,153	171	14,280	4,289	1,311	66	4	152	1,873	7
	2005 (平成17) 年度	3,026	171	1,061	907	495	26	8	18	261	79
男性	1985 (昭和60) 年度	17,210	61	1,762	3,186	1,739	418	83	1,095	8,844	22
	2005 (平成17) 年度	4,202	394	225	482	442	160	16	382	1,968	133

付表 - 1 - 4 高等学校卒業後の就職者の職業分類（全国）

(単位：人)

区分		計	専門的・ 技術的	事務	販売	サービス	保安	農林 漁業	運輸・ 通信	生産工程 ・労務	その他
女性	1985 (昭和60) 年度	299,311	8,532	134,282	54,001	37,565	806	475	2,473	59,431	1,746
	2005 (平成17) 年度	88,706	4,668	20,611	15,850	24,352	1,070	364	974	19,383	1,434
男性	1985 (昭和60) 年度	264,601	7,624	21,462	39,186	18,247	12,702	4,696	8,543	147,775	4,366
	2005 (平成17) 年度	120,040	5,420	3,273	9,107	12,791	7,421	1,939	3,837	73,417	2,835

注：昭和60年調査では「採掘作業者」の項目があったが、ここでは「生産工程・労務」に含まれている。

資料：文部科学省「学校基本調査」

## 2 学部学生・院生に占める女性の割合、専攻分野別男女の割合

付表 - 2 - 1 学部学生・院生に占める女性の割合（全国）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分		1985 （昭和60） 年度	1990 （平成2） 年度	1995 （平成7） 年度	2000 （平成12） 年度	2005 （平成17） 年度
学部	女性	414,384 23.9	554,667 27.9	767,885 32.9	913,216 36.9	1,009,217 40.2
	男性	1,320,008 76.1	1,433,908 72.1	1,562,945 67.1	1,558,540 63.1	1,498,874 59.8
	計	1,734,392	1,988,575	2,330,830	2,471,756	2,508,091
修士	女性	6,599 13.7	10,294 16.6	24,380 22.2	37,885 26.5	49,298 30.0
	男性	41,548 86.3	51,590 83.4	85,269 77.8	104,945 73.5	115,253 70.0
	計	48,147	61,884	109,649	142,830	164,551
博士	女性	2,583 12.0	4,272 15.1	8,610 19.7	16,332 26.1	22,237 29.7
	男性	18,958 88.0	24,082 84.9	35,164 80.3	46,156 73.9	52,672 70.3
	計	21,541	28,354	43,774	62,488	74,909

資料：文部科学省「学校基本調査」

付表 - 2 - 2 学部・専攻分野別男女比（全国）

区分		計	女性		男性		
			実数	構成比（％）	実数	構成比（％）	
2005 （平成17） 年度	計	2,508,091	1,009,217	40.2	1,498,874	59.8	
	人文科学	405,413	271,827	67.0	133,586	33.0	
	社会科学	945,757	294,686	31.2	651,071	68.8	
	理 学	86,844	22,161	25.5	64,683	74.5	
	工 学	433,378	45,703	10.5	387,675	89.5	
	農 学	70,328	28,450	40.5	41,878	59.5	
	保健	計	186,855	105,781	56.6	81,074	43.4
		医 学	46,871	15,432	32.9	31,439	67.1
		歯 学	16,683	6,104	36.6	10,579	63.4
		薬 学	46,212	26,253	56.8	19,959	43.2
		その他	77,089	57,992	75.2	19,097	24.8
	商 船	439	36	8.2	403	91.8	
	家 政	60,169	55,249	91.8	4,920	8.2	
	教 育	141,892	86,381	60.9	55,511	39.1	
	芸 術	72,622	50,329	69.3	22,293	30.7	
その他	104,394	48,614	46.6	55,780	53.4		
1985 （昭和60） 年度	計	1,734,392	414,384	23.9	1,320,008	76.1	
	人文科学	246,850	146,733	59.4	100,117	40.6	
	社会科学	671,001	62,440	9.3	608,561	90.7	
	理 学	59,678	10,788	18.1	48,890	81.9	
	工 学	343,590	9,375	2.7	334,215	97.3	
	農 学	60,068	8,828	14.7	51,240	85.3	
	保健	計	117,809	39,379	33.4	78,430	66.6
		医 学	53,388	8,973	16.8	44,415	83.2
		歯 学	21,362	4,053	19.0	17,309	81.0
		薬 学	36,508	21,766	59.6	14,742	40.4
		その他	6,551	4,587	70.0	1,964	30.0
	商 船	1,548	62	4.0	1,486	96.0	
	家 政	32,185	31,938	99.2	247	0.8	
	教 育	135,227	70,010	51.8	65,217	48.2	
	芸 術	44,890	28,695	63.9	16,195	36.1	
その他	21,546	6,136	28.5	15,410	71.5		

資料：文部科学省「学校基本調査」

### 3 法曹分野への女性の進出

付表 - 3 - 1 裁判官（全国）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	合計			判事			判事補		
	総数	女性	男性	総数	女性	男性	総数	女性	男性
1977（昭和52） 年度	2,703 100.0	58 2.1	2,645 97.9	2,102 100.0	31 1.5	2,071 98.5	601 100.0	27 4.5	574 95.5
1980（昭和55） 年度	2,747 100.0	76 2.8	2,671 97.2	2,134 100.0	43 2.0	2,091 98.0	613 100.0	33 5.4	580 94.6
1985（昭和60） 年度	2,792 100.0	93 3.3	2,699 96.7	2,183 100.0	49 2.2	2,134 97.8	609 100.0	44 7.2	565 92.8
1990（平成2） 年度	2,823 100.0	141 5.0	2,682 95.0	2,214 100.0	68 3.1	2,146 96.9	609 100.0	73 12.0	536 88.0
1995（平成7） 年度	2,864 100.0	236 8.2	2,628 91.8	2,214 100.0	97 4.4	2,117 95.6	650 100.0	139 21.4	511 78.6
2000（平成12） 年度	3,019 100.0	328 10.9	2,691 89.1	2,214 100.0	156 7.0	2,058 93.0	805 100.0	172 21.4	633 78.6
2005（平成17） 年度	3,266 100.0	449 13.7	2,817 86.3	2,386 100.0	234 9.8	2,152 90.2	880 100.0	215 24.4	665 75.6

付表 - 3 - 2 検察官（全国）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	合計			検事			副検事		
	総数	女性	男性	総数	女性	男性	総数	女性	男性
1977（昭和52） 年度	2,103 100.0	22 1.0	2,081 99.0	1,214 100.0	21 1.7	1,193 98.3	889 100.0	1 0.1	888 99.9
1980（昭和55） 年度	2,129 100.0	25 1.2	2,104 98.8	1,238 100.0	24 1.9	1,214 98.1	891 100.0	1 0.1	890 99.9
1985（昭和60） 年度	2,104 100.0	27 1.3	2,077 98.7	1,230 100.0	26 2.1	1,204 97.9	873 100.0	1 0.1	872 99.9
1990（平成2） 年度	2,059 100.0	44 2.1	2,015 97.9	1,187 100.0	42 3.5	1,145 96.5	872 100.0	2 0.2	870 99.8
1995（平成7） 年度	2,057 100.0	77 3.7	1,980 96.3	1,229 100.0	70 5.7	1,159 94.3	828 100.0	7 0.8	821 99.2
2000（平成12） 年度	2,231 100.0	135 6.1	2,096 93.9	1,375 100.0	127 9.2	1,248 90.8	856 100.0	8 0.9	848 99.1
2005（平成17） 年度	2,473 100.0	234 9.5	2,239 90.5	1,627 100.0	225 13.8	1,402 86.2	846 100.0	9 1.1	837 98.9

資料：内閣府「女性の政策・方針決定参画状況調べ」

付表 - 3 - 3 弁護士（全国）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	会員数	女性	男性
1975（昭和50）年度	10,476	323	10,153
	100.0	3.1	96.9
1980（昭和55）年度	11,711	445	11,266
	100.0	3.8	96.2
1985（昭和60）年度	12,899	618	12,281
	100.0	4.8	95.2
1990（平成2）年度	13,817	766	13,051
	100.0	5.5	94.5
1995（平成7）年度	15,108	996	14,112
	100.0	6.6	93.4
2000（平成12）年度	17,126	1,530	15,596
	100.0	8.9	91.1
2005（平成17）年度	21,185	2,648	18,537
	100.0	12.5	87.5

資料：内閣府「女性の政策・方針決定参画状況調べ」

#### 4 医師・薬剤師の女性の割合

付表 - 4 - 1 医師（都）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	計	女性	男性
1988（昭和63）年度	26,670 100.0	4,300 16.1	22,370 83.9
1990（平成2）年度	27,751 100.0	4,601 16.6	23,150 83.4
1992（平成4）年度	27,829 100.0	4,800 17.2	23,029 82.8
1994（平成6）年度	29,826 100.0	5,468 18.3	24,358 81.7
1996（平成8）年度	30,719 100.0	5,804 18.9	24,915 81.1
1998（平成10）年度	31,283 100.0	6,152 19.7	25,131 80.3
2000（平成12）年度	32,157 100.0	6,403 19.9	25,754 80.1
2002（平成14）年度	32,696 100.0	7,110 21.7	25,586 78.3
2004（平成16）年度	34,463 100.0	7,932 23.0	26,531 77.0

付表 - 4 - 2 薬剤師（都）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	計	女性	男性
1988（昭和63）年度	20,321 100.0	12,469 61.4	7,852 38.6
1990（平成2）年度	20,792 100.0	12,909 62.1	7,883 37.9
1992（平成4）年度	23,302 100.0	14,341 61.5	8,961 38.5
1994（平成6）年度	25,984 100.0	15,910 61.2	10,074 38.8
1996（平成8）年度	29,006 100.0	17,469 60.2	11,537 39.8
1998（平成10）年度	31,042 100.0	18,730 60.3	12,312 39.7
2000（平成12）年度	32,761 100.0	19,886 60.7	12,875 39.3
2002（平成14）年度	35,766 100.0	21,968 61.4	13,798 38.6
2004（平成16）年度	37,704 100.0	23,086 61.2	14,618 38.8

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査の概況」

## 5 看護師・保健師への男性の進出

付表 - 5 - 1 看護師（都）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	計	女性	男性
1985（昭和60）年度	50,422	49,371	1,051
	100.0	97.9	2.1
1990（平成2）年度	55,096	54,193	903
	100.0	98.4	1.6
1995（平成7）年度	62,559	61,142	1,417
	100.0	97.7	2.3
2000（平成12）年度	64,727	62,897	1,830
	100.0	97.2	2.8

付表 - 5 - 2 保健師（都）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	計	女性	男性
1985（昭和60）年度	1,479	1,479	0
	100.0	100.0	0.0
1990（平成2）年度	1,557	1,557	0
	100.0	100.0	0.0
1995（平成7）年度	1,777	1,777	0
	100.0	100.0	0.0
2000（平成12）年度	1,895	1,895	0
	100.0	100.0	0.0

注：保健師の国家試験を男性が受験できるようになったのは1994（平成6）年度から

資料：総務省「国勢調査」

## 6 警視庁・消防庁職員への女性の進出

付表 - 6 - 1 警察官（都）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	計	女性	男性
1985（昭和60）年度	40,372	1,293	39,079
	100.0	3.2	96.8
1990（平成2）年度	41,015	1,376	39,639
	100.0	3.4	96.6
1995（平成7）年度	41,442	1,809	39,633
	100.0	4.4	95.6
2000（平成12）年度	42,220	1,974	40,246
	100.0	4.7	95.3
2005（平成17）年度	43,036	2,291	40,745
	100.0	5.3	94.7

付表 - 6 - 2 消防吏員（都）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	計	女性	男性
1985（昭和60）年度	17,420	353	17,067
	100.0	2.0	98.0
1990（平成2）年度	17,558	350	17,208
	100.0	2.0	98.0
1995（平成7）年度	17,846	409	17,437
	100.0	2.3	97.7
2000（平成12）年度	17,919	602	17,317
	100.0	3.4	96.6
2005（平成17）年度	18,136	764	17,372
	100.0	4.2	95.8

資料：東京都人事委員会「都職員の構成」

## 7 研究分野の女性の割合

付表 - 7 - 1 研究者数と女性比率の推移

(上段：実数、下段：構成比%)

区分	計	女性	男性
1995 (平成7) 年度	6,826	611	6,215
	100.0	8.9	91.0
1997 (平成9) 年度	7,205	705	6,500
	100.0	9.8	90.2
1999 (平成11) 年度	7,572	761	6,811
	100.0	10.1	89.9
2001 (平成13) 年度	7,507	820	6,687
	100.0	10.9	89.1
2003 (平成15) 年度	7,913	887	7,026
	100.0	11.2	88.8
2005 (平成17) 年度	8,305	987	7,318
	100.0	11.9	88.1

注1：「研究者」とは、大学(短期大学を除く。)の過程を修了した者(又はこれと同等以上の専門的知識を有する者)で、特定の研究テーマをもって研究を行っている次の者をいう。

<企業等及び非営利団体・公的機関>

主に研究に従事する者、 研究を兼務する者

<大学等>

本務者(内部で研究を主とする者) 兼務者(外部に本務を持つ者)

注2：平成9年及び平成14年に調査対象範囲を拡大している。

注3：男女別の研究者数は平成13年までは実際に研究業務に従事した割合であん分した値、14年以降はあん分しない実数値

資料：総務省「科学技術研究調査」

## 8 起業家の性別、年齢、起業意向

付表 - 8 - 1 起業家の性別の推移

(単位：%)

区分	回答者数 (人)	女性	男性
1999 (平成 11) 年度	1,637	12.5	87.5
2001 (平成 13) 年度	2,144	15.3	84.7
2003 (平成 15) 年度	2,335	13.8	86.2
2005 (平成 17) 年度	2,432	16.5	83.5

付表 - 8 - 2 創業時の年齢

(単位：%)

区分	回答者数 (人)	29 歳以下	30 ~ 39 歳	40 ~ 49 歳	50 ~ 59 歳	60 歳以上
女性経営者	401	9.5	27.2	28.2	28.4	6.7
男性経営者	2,025	10.1	33.1	27.6	22.9	6.4

注：調査は国民生活金融公庫が 2004 (平成 16) 年 4 月から同年 9 月にかけて融資した企業のうち、融資時点で開業後 1 年以内の起業 (開業前の企業を含む) 8,836 社を対象

資料：国民生活金融公庫「新規開業実態調査」2005 (平成 17) 年

付表 - 8 - 3 起業した理由

(単位：%)

区分	女性	男性
回答者数(人)	360	1,903
仕事の経験・知識や資格を生かしたかった	28.3	27.6
自由に仕事がしたかった	12.8	19.1
自分の技術やアイデアを事業化したかった	11.1	9.9
収入を増やしたかった	9.2	11.5
事業経営という仕事に興味があった	8.3	14.0
年齢や性別に関係なく仕事がしたかった	8.1	2.0
社会の役に立つ仕事がしたかった	6.9	5.4
趣味や特技を生かしたかった	4.4	1.5
時間や気持ちにゆとりが欲しかった	3.9	2.5
適当な勤め先がなかった	2.2	2.5
その他	4.7	4.1

注1：調査は国民生活金融公庫が2004(平成16年)年4月から同年9月にかけて融資した企業のうち、融資時点で開業後1年以内の起業(開業前の企業を含む)8,836社を対象

注2：最もあてはまるものについての回答

資料：国民生活金融公庫「新規開業実態調査」2005(平成17)年

## 9 民間企業における女性の活用

付表 - 9 - 1 職場の全管理職に占める女性管理職の割合（都）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	計	2割以上	1割以上 2割未満	1割未満	全くいない	無回答
全体	1,675 100.0	212 12.7	101 6.0	466 27.8	892 53.3	4 0.2
建設業	130 100.0	0 0.0	2 1.5	35 26.9	93 71.5	0 0.0
製造業	232 100.0	6 2.6	5 2.2	53 22.8	167 72.0	1 0.4
情報通信業	100 100.0	11 11.0	7 7.0	39 39.0	43 43.0	0 0.0
運輸業	126 100.0	3 2.4	3 2.4	28 22.2	92 73.0	0 0.0
卸売・小売業	204 100.0	18 8.8	10 4.9	61 29.9	115 56.4	0 0.0
金融・保険業	107 100.0	7 6.5	4 3.7	29 27.1	67 62.6	0 0.0
不動産業	36 100.0	4 11.1	1 2.8	5 13.9	26 72.2	0 0.0
飲食店、宿泊業	34 100.0	2 5.9	6 17.6	6 17.6	20 58.8	0 0.0
医療・福祉	171 100.0	86 50.3	14 8.2	38 22.2	32 18.7	1 0.6
教育・学習支援業	140 100.0	30 21.4	21 15.0	47 33.6	42 30.0	0 0.0
サービス業	359 100.0	41 11.4	27 7.5	116 32.3	173 48.2	2 0.6
その他	36 100.0	4 11.1	1 2.8	9 25.0	22 61.1	0 0.0

注1：「管理職」とは課長相当職以上

注2：対象は、都内全域（島しょを除く）の従業員規模30人以上の事業所に勤務する従業員

資料：東京都産業労働局「東京都男女雇用平等参画状況調査結果報告書」2004（平成16）年

## 10 国及び地方議員、首長等に占める女性の割合

付表 - 10 - 1 都議会議員、首長等に占める女性の割合（都）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	計	女性	男性
都議会議員	127 100.0	22 17.3	105 82.7
区市長（東京都）	49 100.0	4 8.2	45 91.8
町村長（東京都）	13 100.0	13 0.0	0 100.0
区市町村議員	1,761 100.0	376 21.4	1,385 78.6
市区議員	1,614 100.0	361 22.4	1,253 77.6
町村議員	147 100.0	15 10.2	132 89.8

資料：東京都議会調べ：2005（平成17）年7月現在  
 東京都区市長会調べ：2006（平成18）年1月現在  
 東京都町村長会調べ：2006（平成18）年1月現在

付表 - 10 - 2 国及び地方議員、首長等に占める女性の割合（全国）

（上段：実数、下段：構成比％）

区分	計	女性	男性
衆議院	480 100.0	44 9.2	436 90.8
参議院	242 100.0	34 14.0	208 86.0
都道府県知事	47 100.0	4 8.5	43 91.5
都道府県副知事	69 100.0	6 8.7	63 91.3
都道府県議員	2,815 100.0	194 6.9	2,621 93.1
市区長	790 100.0	9 1.1	781 98.9
町村長	1,187 100.0	5 0.4	1,182 99.6
市区町村議員	54,138 100.0	4,441 8.2	49,697 91.8
市区議員	20,949 100.0	2,505 12.0	18,444 88.0
町村議員	33,189 100.0	1,936 5.8	31,253 94.2

資料：内閣府「女性の政策・方針決定参画状況調べ」2006（平成18）年  
 全国市長会調べ：2006（平成18）年3月現在  
 全国町村長会調べ：2006（平成18）年3月現在